

2015年度

H 世界史問題

注 意

1. 試験開始の指示があるまでこの問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙はすべてHBの黒鉛筆またはHBの黒のシャープペンシルで記入することになっています。HBの黒鉛筆・消しゴムを忘れた人は監督に申し出てください。(万年筆・ボールペン・サインペンなどを使用してはいけません。)
3. この問題冊子は12ページまでとなっています。試験開始後、ただちにページ数を確認してください。なお、問題番号はⅠ～Ⅲとなっています。
4. 解答用紙にはすでに受験番号が記入されていますので、出席票の受験番号が、あなたの受験票の番号であるかどうかを確認し、出席票の氏名欄に氏名のみを記入してください。なお、出席票は切り離さないでください。
5. 解答は解答用紙の指定された解答欄に記入し、その他の部分には何も書いてはいけません。
6. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、傷つけたりしないように注意してください。
7. この問題冊子は持ち帰ってください。

マーク・センス法についての注意

マーク・センス法とは、鉛筆でマークした部分を機械が直接よみとって採点する方法です。

1. マークは、下記の記入例のようにHBの黒鉛筆で枠の中をぬり残さず濃くぬりつぶしてください。
2. 1つのマーク欄には1つしかマークしてはいけません。
3. 訂正する場合は消しゴムでよく消し、消しきずはきれいに取り除いてください。

マーク記入例：

A	1	2	3	4	5
	○	○	●	○	○

(3と解答する場合)

I. 次の文を読み、下記の設問A～Cに答えよ。解答は解信用紙の所定欄にしるせ。

19世紀、内憂外患の清朝政府を支えたのは科挙の選抜を経た官僚たちであった。

林則徐は1785年、福建省閩侯^{ウイ}県で、科挙に失敗し続けた貧しい教師の家に生まれた。1811年、科挙に合格して進士となり、地方行政官を歴任した。1837年湖広総督となり、その後管内でのアヘン取り締まりに実績を上げ、当時の皇帝（イ）に注目された。中国から輸入される茶の見返りとしてイギリス商人がインドから持ち込んだアヘンは、社会を混乱させる上、銀の流出を招き、農民の清朝政府への納税を妨げていた。そこで皇帝は1838年、林則徐をアヘン禁輸の欽差大臣に任命した。翌年＜あ＞に到着した林則徐は、イギリス商人所有のアヘンをすべて没収・処分し、さらにイギリス側にアヘン貿易の停止を要求してアヘン戦争の原因を作った。

1840年、イギリス外相パーマストン¹⁾が派遣した艦隊が渤海に侵入したため、動揺した清朝政府は林則徐を解任した²⁾。その後イギリス軍は南京に迫ったので、1842年、清朝は抵抗をあきらめ南京条約を結んだ。のちに首相となったパーマストンは、フランスを誘って再度清朝にアロー戦争³⁾を仕掛け、1858年に（ロ）条約、2年後に北京条約を結んで権益を拡大した。解任された林則徐は新たな任地である新疆や雲南でその後も活躍を続け、1849年引退し、翌年、太平天国の乱の兆しがみえていた広西に欽差大臣として赴く途中病没した。

19世紀後半になると、科挙で選ばれた文官は郷里との繋がりを絶つという原則を外れ、郷里で力を蓄える者が出てくる。たとえば曾国藩は1811年、湖南省湘郷県に生まれ、1838年に進士となった。林則徐の長男の林汝舟や、李鴻章の父の李文安と同期の合格である。母を弔うため官を離れ帰郷していた1852年、太平天国の侵攻に遭遇した。科挙の予備試験に落ち続けた（ハ）が創始した⁴⁾ 拜上帝会に結集した太平天国は当時、長江流域を席卷しつつあった。曾国藩は地元の郷勇を組織した湘軍の力で、これを押し返した。1860年には両江総督・欽差大臣となり、4年後には現在の南京にあたる太平天国の首都（ニ）を陥落させた。1868年直隸総督となったが、2年後に両江総督に復帰し、1872年に死去した。

曾国藩の幕下から輩出した人材のうち、左宗棠は1812年湖南省湘陰県に生まれ、1832年の科挙で挙人となったが、進士には合格せず、故郷で塾を開いていた。太平天国が勢いを増すと、湖南巡撫の下で曾国藩が進める湘軍の編成を助け長沙を守った。さらにこの軍を率いて諸省を転戦し、イギリスやフランスと協力して長江下流域を奪回した。その後陝甘総督として捻軍や蜂起した⁵⁾ イスラーム教徒と戦った⁶⁾。1875年からは＜い＞の乱に揺れ

る新疆に入り2年後に鎮圧に成功した。重臣として顯職を歴任し、1884年ベトナムへの進出を企てるフランスと清との間で清仏戦争⁷⁾が起こると、欽差大臣として福建省沿岸の防衛を任せられ、翌年福州で病死した。左宗棠はロシア⁸⁾に対する陸上防備を重視する塞防派の首領であり、同じ曾国藩幕下でも海防派の李鴻章とは対立関係にあった。

李鴻章は1823年、安徽省合肥に生まれ、父に続いて1847年進士となった。林則徐の三女の夫、沈葆楨^{しんほてい}と同期である。太平天国が押し寄せると曾国藩の幕下に入った。1862年、曾国藩の湘軍に倣って郷里で（ホ）軍を組織し、江蘇巡撫代行となって上海⁹⁾の防衛にあたり、1870年曾国藩の後を継いで直隸総督となった。このときに北洋大臣も兼ねたので彼の軍は北洋軍と呼ばれるようになった。彼以後、北洋大臣が諸列強に対する実質的な外交¹⁰⁾を担った。李鴻章は清朝の重臣筆頭として西太后の厚い信任を得た。1881年以降は朝鮮王朝との外交も、朝貢国との関係を扱う礼部から北洋大臣へと移管され、それまでは少なかった朝鮮の内政や外交への干渉が増え、朝鮮の属国化が進んだ。1894年、朝鮮に対する宗主権をめぐる日本と対立し日清戦争に至った。敗北後、講和交渉で全権を任せられた李鴻章は1895年下関条約を結んだ。1900年に義和団¹¹⁾が北京に侵入した際には再び全権を任せられて諸外国との交渉にあたり、1901年9月に（ヘ）和約を締結し、11月に病死した。

李鴻章よりさらに一世代下の康有為になると、科挙についての考え方も違ってくる。1858年、広東省南海県に生まれた康有為は、はじめ朱子学を学んだが飽きたらず、陽明学や仏教・道教をも独学で修めた。さらに科挙受験の帰途香港や上海に出て欧米の文明・思想に触れてから西歐諸学¹²⁾の訳書をも広く読み、『春秋』の注釈書の1つを重視する＜ウ＞を中心にその学識を体系化した。1895年、下関条約の締結の年によく進士に合格した康有為は、科挙受験者を代表して日本への徹底抗戦を上奏し一躍時の人となった。工部主事を授かった康有為は職には就かず、当時の皇帝（ト）に立憲君主制樹立¹³⁾を最終目標とする変法を行うよう上奏を繰り返し、1898年6月、ついに皇帝から改革の主導権を与えられた。いわゆる戊戌の変法である。ところが改革は9月、わずか100日あまりで西太后のクーデタ、いわゆる戊戌の政変で失敗に帰し、康有為は香港を経て日本に亡命した。

義和団事件後、清朝政府内では保守派の勢いが後退し、新軍¹⁴⁾の整備、地方自治の導入など立憲君主制をめざす改革が進むようになった。そうした中で、エリート養成のしくみも留学などが主流になり、千年以上の伝統を持つ科挙はついに1905年、廃止されたのである。

A. 文中の空所(イ)～(ト)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

B. 文中の空所<あ>～<う>にあてはまる適当な語句を、それぞれ対応する次の a～d から 1つずつ選び、その記号をマークせよ。

<あ> a. 厦門 b. 広州 c. 杭州 d. 寧波

<い> a. アルタン=ハン b. チョイバルサン
 c. ツォンカバ d. ヤクブ=ベク

<う> a. 公羊学 b. 考証学 c. 実学 d. 東学

C. 文中の下線部 1)～14)にそれぞれ対応する次の問 1～14に答えよ。

1. この時期イギリス商人がアヘン貿易に殺到したことは、イギリスでの自由貿易運動の高揚の結果、1833年にイギリス東インド会社の中国貿易独占の廃止が決定されたことが影響している。コブデンやブライトが指導して、ランカシャーの綿業資本家を中心に1830年代末に結成された自由貿易推進のための全国組織の名をしるせ。

2. 1830年に初めて外相に就任したパーマストンは、欧州大陸で旧秩序維持を図るオーストリアやロシアを牽制するため両帝国内の民族独立運動を支援し、その隙にイギリスの海外権益を広げることに努めた。イタリアの統一運動を指導し、1831年、亡命地のマルセイユでイタリア人の共和主義政治結社「青年イタリア」を結成した人物の名をしるせ。

3. この戦争の直前、イギリスとフランスはクリミア戦争で共同歩調をとったばかりであった。1856年、クリミア戦争の終結にあたって結ばれ、黒海の中立化等を定めた条約の名を、次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。

a. トルコマンチャーイ条約 b. ニスタット条約
c. パリ条約 d. ベルリン条約

4. 上帝とはキリスト教の神のことである。清朝領域内へのキリスト教の布教には長い歴史がある。フランス王ルイ14世が1685年中国に派遣したイエズス会士で、『皇輿全覽図』の作製に協力したことで知られる宣教師の名を、次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。

a. アダム=シャール b. ブーヴェ
c. フェルピースト d. ルブルック

5. クリミア戦争・アロー戦争を戦ってきたイギリスの陸軍少佐ゴードンは、1860年代なかば、清朝側で戦う洋式軍隊である常勝軍を指揮した。彼はその後スーダン総督を経て退役したが、スーダンでの対エジプト反乱勃発に際し現役復帰し、エジプト軍救出のため奮戦するなか、1885年戦死した。この反乱の名をしるせ。
6. 当時フランスのナポレオン3世は、メキシコの内乱に介入するなど海外進出を活発化させていた。1858年自由主義派のメキシコ大統領となり、のちにフランスが支持していた皇帝マキシミアンを倒した人物の名を、次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. サパタ b. ディアス c. ファレス d. マデロ
7. 1880年代のフランス政府がベトナムに進出を試みたのは、普仏戦争敗北後に国民に蔓延した対独復讐感情を鎮める意図もあったといわれる。当時対独強硬派としてフランス国民の人気を集め、1889年に政権奪取寸前までいったが断念、2年後自殺した軍人政治家の名をしるせ。
8. シベリアを東進してきたロシアは1858年黒竜江以北を獲得し、1860年にはアロー戦争の講和を仲介してウスリー川以東の地を得た。これらの領土獲得の立役者となった初代東シベリア総督ムラヴィヨフを1847年に任命したロシア皇帝の名を、次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. アレクサンドル3世 b. イヴァン4世
c. ニコライ1世 d. ピョートル1世
9. 上海には1865年、清朝初の本格的洋式兵器製造施設である江南製造局が李鴻章によって設立されたが、それが軌道に乗ったのは南北戦争終結直後のアメリカから工作機械を輸入できたからである。アメリカで1865年に北軍が占領し戦争を終結させた南部の首都の名を、次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. ゲティスバーグ b. コンコード
c. ニューオーリンズ d. リッチモンド
10. 当時、清朝には外交を扱う役所として総理各国事務衙門（総理衙門）があったが、これも1861年に設立されたものにすぎない。そもそも清朝では元来、特別に外交を扱う役所は設けられていなかったが、それは朝貢体制がとられていたからである。朝貢体制の下で、特別に外交を扱う役所を設ける必要がなかった理由を、1行でしるせ。

II. 次の文を読み、下記の設問A・Bに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

南北アメリカ大陸には、ヨーロッパ人が到達する以前から先住民たちの暮らしがあった。メキシコ高原から中央アメリカ一帯にかけては、古代よりオルメカ文明、テオティワカン文明、マヤ文明、アステカ文明などが栄えた。また南米でもアンデス文明と総称される多くの文明が花開き、特にインカ帝国は（イ）を首都として広大な領域を支配するに至った。

しかし15世紀に入りヨーロッパが大航海時代を迎えると、海を越えてきたヨーロッパ人らがキリスト教布教などを口実に侵略活動を開始する。（ロ）年にはコルテスによってアステカ王国が滅ぼされるなどし、先住民らは過酷な労働を強いられるようになった。一方でヨーロッパの商業は世界規模の広がりを持つようになり、資本主義経済の発達が促された。また1545年には南アメリカ大陸最大の（ハ）銀山が現在のボリビアで発見され、大量の銀がヨーロッパに流入することになった。

北米では、イギリスが1607年にジェームズタウンを建設して植民に成功した。また1620年にはピューリタンらの一団がプリマスに上陸・定住した。慣れない土地で入植者らの生活は苦難を極めたが、先住民らは彼らに食料を与え、またトウモロコシなどの栽培方法を教えてその暮らしを助けた。

しかし、やがて北米の入植者らは次第にその数を増していき、先住民の生活圏や狩場を自分たちのものとして占有するようになっていった。先住民と白人との関係は徐々に険悪なものとなり、17世紀の中頃までには武力衝突も発生するようになった。また白人がヨーロッパから持ち込んだ病原菌も、免疫を持たない先住民を苦しめた。1787年にはアメリカ合衆国憲法が制定されたが、そこでも先住民の権利は黒人のそれと共に軽視される結果となった。

1830年、アメリカ第7代大統領の（ニ）は、先住民をミシシッピ川以西の保留地に追放する強制移住法を制定した。この強制移住のさなかには、食料不足や病気で多くの先住民が命を落とした。また1848年にカリフォルニアで金鉱が発見されると、白人たちは盛んに大陸西部の開拓を進めるようになり、その結果として先住民たちはますます追い詰められていった。白人たちによる収奪に対し先住民らは各地で激しく抵抗し、特に（ホ）族のジェロニモやラコタ族のクレイジー・ホースは戦士として顕著な活躍を見せた。しかしそうした抵抗も空しく、1890年にサウスダコタ州の保留地で発生した白人による先住民の虐殺事件の後、先住民による組織的な抵抗は終わった。

A. 文中の空所(イ)～(ホ)それぞれにあてはまる適当な語句または数字をしるせ。

B. 文中の下線部1)～8)にそれぞれ対応する次の問1～8に答えよ。

1. これに該当しないものはどれか。次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。
 - a. チャビン文明
 - b. ティアワナコ文明
 - c. トルテカ文明
 - d. ナスカ文明
2. 大航海時代には多くの探検家が南北アメリカ大陸に到達したが、南米を探検してこの地がアジアとは異なる大陸であることを明らかにしたフィレンツェ出身の探検家は誰か。その名をしるせ。
3. スペインがメキシコの港市を拠点にフィリピンのマニラとの間でおこなった貿易を、この港市の名前をとって何と呼ぶか。その名をしるせ。
4. ピューリタンの多くはカルヴァン派であるが、フランスではカルヴァン派の人は何と呼ばれたか。その名をしるせ。
5. 大西洋沿岸に作られた13のイギリス植民地はやがて1776年に本国から独立するが、独立当初の13植民地に含まれないものを、次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。
 - a. アラバマ
 - b. サウスカロライナ
 - c. ジョージア
 - d. ニューハンプシャー
6. この憲法に関する記述として正しいものを、次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。
 - a. 国号を初めて「アメリカ合衆国」(United States of America) と定めた
 - b. 三権分立の原則を取り入れ、中央政府への権力集中を避けた
 - c. ジェファソンを議長とする憲法制定会議で草案が作成された
 - d. 制定と同じ年に首都がワシントン特別区に移された
7. アメリカはカリフォルニアを、ある国との戦争に勝利した結果として獲得した。この対戦国はどこか。その名をしるせ。
8. この事件が起きた地名を、次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。
 - a. ウーンデッドニー
 - b. サラトガ
 - c. プロモントリー
 - d. レキシントン

Ⅲ. 次の文を読み、文中の下線部1)～12)にそれぞれ対応する下記の設問1～12に答えよ。
解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

14世紀イタリアで始まったルネサンスは、ギリシア・ローマの古典文化研究を通じて豊かな人間性を取り戻そうとする文化運動であった。文学においてはダンテが『神曲』¹⁾を著した。絵画においてはレオナルド＝ダ＝ヴィンチ、ミケランジェロ、ラファエロらの作品が有名である。建築では大円蓋（ドーム）と列柱を特徴とするルネサンス式建築が生まれた。フィレンツェのサンタ＝マリア大聖堂の大円蓋²⁾などが、この様式の代表作として知られている。またフィレンツェのメディチ家³⁾などはルネサンスの重要な庇護者となった。

16世紀後半になると、端正で落ち着いたルネサンス芸術への反動として、豪壮・華麗なバロック様式が登場した。絵画ではルーベンス、ペラスケス、レンブラントなどが活躍した。またこの様式を反映した代表的な建築物としては、17世紀後半に作られたヴェルサイユ宮殿⁴⁾がある。

音楽においては1580年頃からフィレンツェで古代ギリシア演劇⁵⁾の復興を目指した取り組みが始まり、そうした実践の中からはやがてオペラの原型が生まれてきた。さらに18世紀に入るとドイツにバッハが登場しバロック音楽を大成した。

18世紀末になると、フランスでは古典主義絵画⁶⁾が栄え、再び古代ギリシア・ローマが模範とされるようになった。一方、音楽でもソナタなどの形式美を重んじる古典派音楽が主流となり、モーツァルトやベートーヴェン⁷⁾が多くの傑作を残した。

しかし19世紀に入ると人々は再び劇的な表現を求めるようになる。ロマン主義の到来である。絵画ではドラクロワらがセンセーショナルな題材に基づいた迫力ある作品を描き、また音楽ではベルリオーズ⁹⁾、シューマン、リスト¹⁰⁾らによって作曲者の個性や感情をストレートに表現する音楽が作られた。

19世紀後半¹¹⁾になると、フランスを中心に印象派が現れる。絵画においては、写実性よりも光による対象の見え方の変化とその表現に関心が置かれ、また音楽では和声や形式の自由度が高められた。さらに20世紀に入ると、従来の絵画や音楽が依拠していた暗黙の前提が批判的に乗り越えられるようになっていく。絵画ではピカソやブラックがキュビズムを創始し、音楽においてはシェーンベルク¹²⁾が調性を放棄した十二音音楽を作り出した。

1. この作品は、イタリアのどの地方の言葉で書かれたものか。その地方の名をしるせ。
2. この大円蓋を完成させた建築家は誰か。その名をしるせ。

